

洪水からみなさまの暮らしを守る

VOL.2

あさがわけきとく
厚狭川激特だより

はじめに

厚狭川激特だよりは、前号で説明しました「厚狭川河川激甚災害対策特別緊急事業」に関する取り組み状況などの情報をお知らせするために発行するものです。

今回は、「厚狭川の鴨橋周辺の概要」、「事業の効果」、「事業の進捗状況」などについてお知らせします。

【整備の目標】 厚狭川および桜川において、河道の掘削及び拡幅、排水ポンプの増設等により、洪水を流下させる能力を向上させ、昨年7月の豪雨規模の洪水による浸水被害を軽減します。

厚狭川の鴨橋周辺の概要

昨年7月の豪雨では、鴨橋周辺においても、洪水が堤防を越え、厚狭の市街地への浸水被害をもたらしたことから、川底の掘削と合わせて、一部区間において河道を拡幅させていただくこととしています。また、橋脚の数が多く、川の流れの妨げとなっている鴨橋については、架け替えを行うこととしています。

この辺りは、かつて街道であった山陽道や厚狭天満宮、大福寺、貞源寺、レトロな雰囲気を持つ鴨橋、昔ながらの石積みの護岸、鯉、アユ釣りを楽しむ釣り人など、歴史や自然を肌で感じることができます。この景観を極力大事にしながら、河道の整備や鴨橋の架替を行う計画とします。



現在の厚狭川（写真中央は鴨橋）（平成23年7月撮影）



（厚狭図書館提供）
大正12年頃の鴨橋
※現在の鴨橋は昭和2年に架けられました、以前は木製の橋だったようです。



旧山陽道の道標
「右あつ、左はぶ下の関」

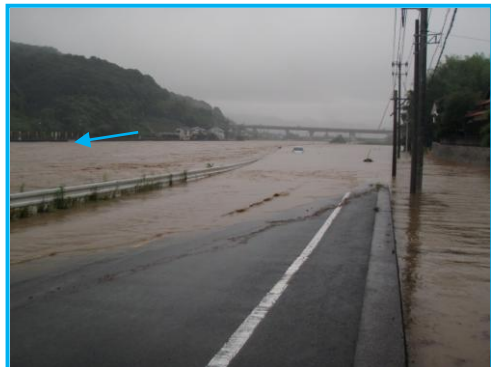
※鴨橋の右岸側に残っている道標。工事にあわせて新しい鴨橋のたもとに移設して保存します。



（厚狭図書館提供）
※昭和6年、現在の鴨橋の下流側にあったわたしたし橋。旧山陽道のなごりだそうです。

事業の効果

これまで堤防の高さが不足していた迫山地区では、過去に何度も浸水被害を受けており、昨年7月の洪水においても、浸水被害が生じました（左下写真）。このため、平成23年1月から堤防の高上げ工事に着手し、同年5月に工事が完了いたしました。これにより、迫山地区では、厚狭川からの越流による浸水被害は軽減されるものと思われま



平成22年7月15日の浸水状況



堤防嵩上げ完成後

事業の進捗状況

○国道190号下流の後潟漁港において、厚狭川下流部の川底を作業船により掘削した土砂を陸揚げする場所の整備を進めています。

○東下津から殿町にかけ、現在左岸の堤防嵩上げの設計を進めています。

○鴨橋周辺については、8月上旬に地域の皆様への説明会を開催し、多くの貴重なご意見をいただきました。

○桜川については、6月末に地域の皆さまへの概略の説明会を開催しました。現在、JR等関係機関との協議調整を行っておりますが、引き続き、協議調整を行いながら詳細な設計を進めます。

○大正川排水機場のポンプ増設工事については、施工業者も決まり、平成25年の梅雨時期までの完成を目指します。

～ ちょっと一息 ～



平成23年7月23日（土）、小学校の夏休みのスタートに合わせて、寝太郎公園ゆめ広場において、厚狭川漁協主催で「水辺の教室」が開催されました。この教室は、毎年美祢側と山陽側で交互に開催されているもので、当日はたくさんの子供たちが参加していました。川やアユの話を聞いて学習した後、ゆめ広場横のせせらぎ水路でアユのつかみどりをしたりと、夏休み最初の楽しいイベントになったようで、子供たちの笑顔がとても印象的でした。

今後、厚狭川および周辺においては、工事に伴い騒音振動や交通規制及び工事用車両の通行等でご迷惑をおかけすると思っておりますが、細心の注意をはらって施工いたしますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

＜ お問い合わせはこちらまで ＞

山口県宇部土木建築事務所 〒755-0033 宇部市琴芝町 1-1-50
TEL 0836-21-7125 FAX 0836-22-5231

